

平成28年6月期 決算説明会



証券コード1382

株式会社 ホーブ

平成28年8月18日



会社概要

■ 会社名	株式会社ホーブ
■ 代表取締役社長	政場 秀
■ 設立	昭和62年6月
■ 本社所在地	北海道上川郡東神楽町
■ 資本金	4億2125万円
■ 発行済株式総数	762,000株
■ 従業員数	59人（連結）35人（個別）
■ 事業所	北海道本社／東京本部／関西事業所
■ 連結子会社	株式会社エス・ロジスティックス 株式会社ホーブ21 株式会社ジャパンポテト



事業内容

事業区分（セグメント）および事業内容

事業区分	事業内容
いちご果実・青果事業 (当社、株式会社ホーブ21)	いちご果実（自社品種・その他いちご）、青果、 農業用資材等の仕入販売
種苗事業 (当社)	自社いちご品種苗、その他種苗の生産と販売
馬鈴薯事業 (株式会社ジャパンポテト)	種馬鈴薯の生産販売及び仕入販売 青果馬鈴薯の仕入販売等
運送事業 (株式会社エス・ロジスティックス)	運送業務

業績の概要



連結業績

(単位：百万円)

	当期 H28/6期	前期 H27/6期	増減額	増減率 (%)
売上高	4,485	5,159	△674	△13.1
売上総利益	743	854	△111	△13.0
営業利益	△68	33	△102	—
経常利益	△60	39	△99	—
当期純利益	△110	24	△134	—



セグメント別売上高

(単位：百万円)

	当期 H28/6期		前期 H27/6期	増減率 (%)
		構成比 (%)		
いちご果実・青果事業	3,143	70.1	3,797	△17.2
種苗事業	45	1.0	50	△10.3
馬鈴薯事業	1,210	27.0	1,236	△2.1
運送事業	86	1.9	76	14.1
連結	4,485	100.0	5,159	△13.1



セグメント別営業利益

(単位：百万円)

	当期 H28/6期	前期 H27/6期	増減率 (%)
いちご果実・青果事業	9	133	△92.7
種苗事業	6	7	△19.3
馬鈴薯事業	60	55	9.8
運送事業	20	13	52.7
調整額	△166	△177	—
連結	△68	33	—

※調整額は主にどの部門にも帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。



個別業績

(単位：百万円)

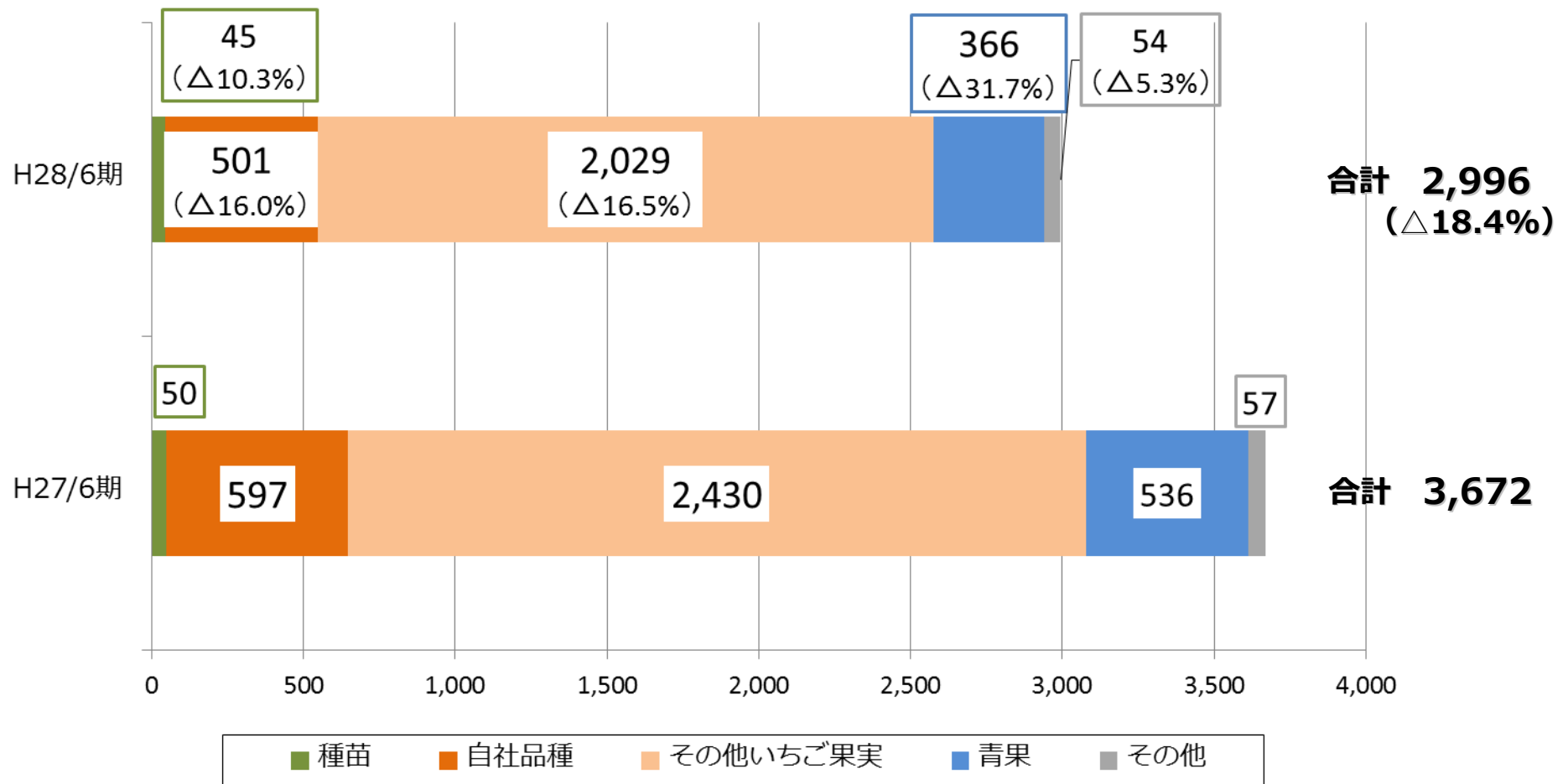
	当期 H28/6期	前期 H27/6期	増減額	増減率 (%)
売上高	2,996	3,672	△675	△18.4
売上総利益	519	650	△130	△20.1
営業利益	△154	△43	△110	—
経常利益	△110	△20	△89	—
当期純利益	△136	△13	△122	—



個別業績（品目別売上高）

（ ）内は前期比増加率

単位：百万円

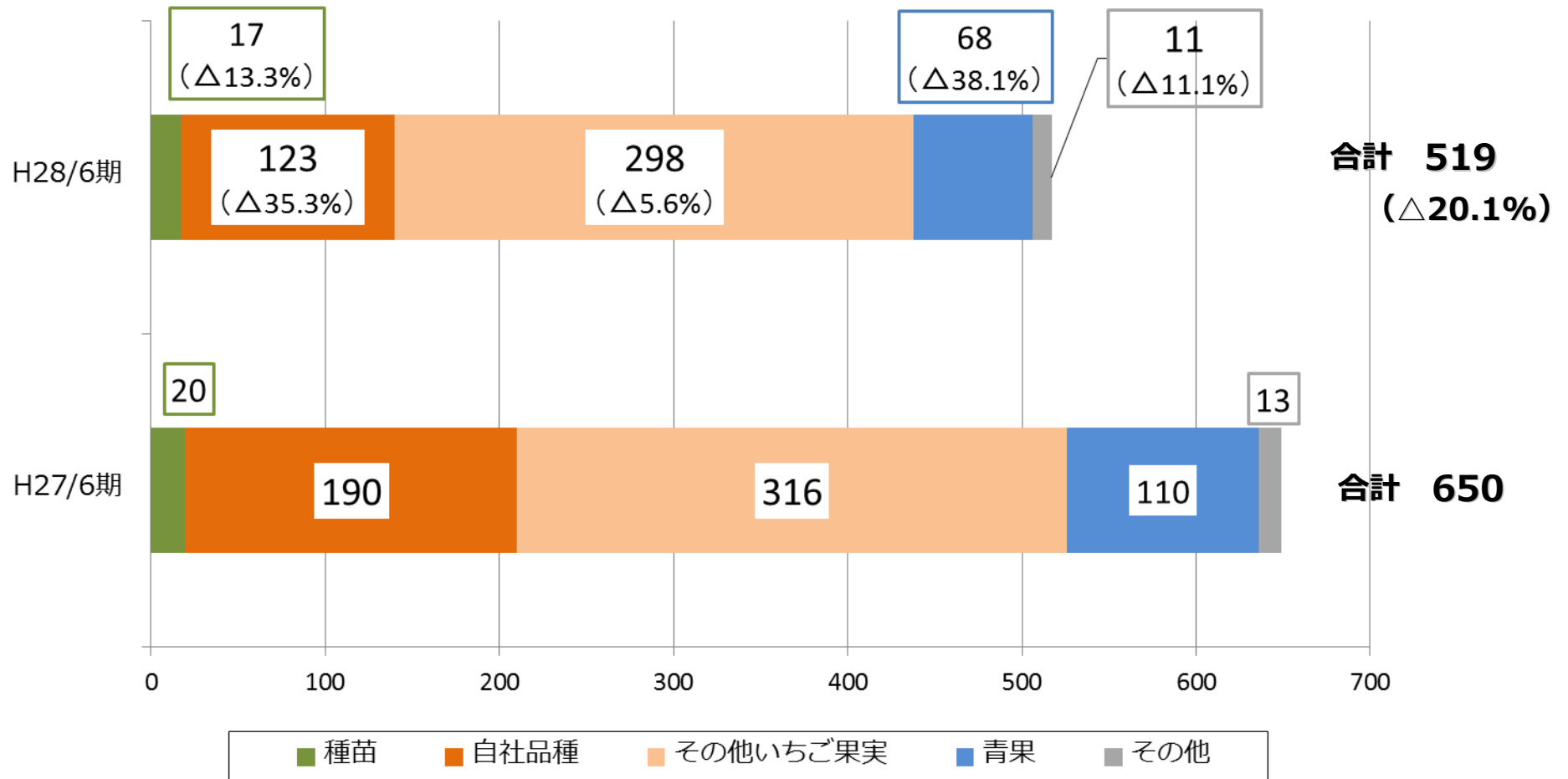




個別業績 (品目別総利益)

()内は前期比増加率

単位：百万円

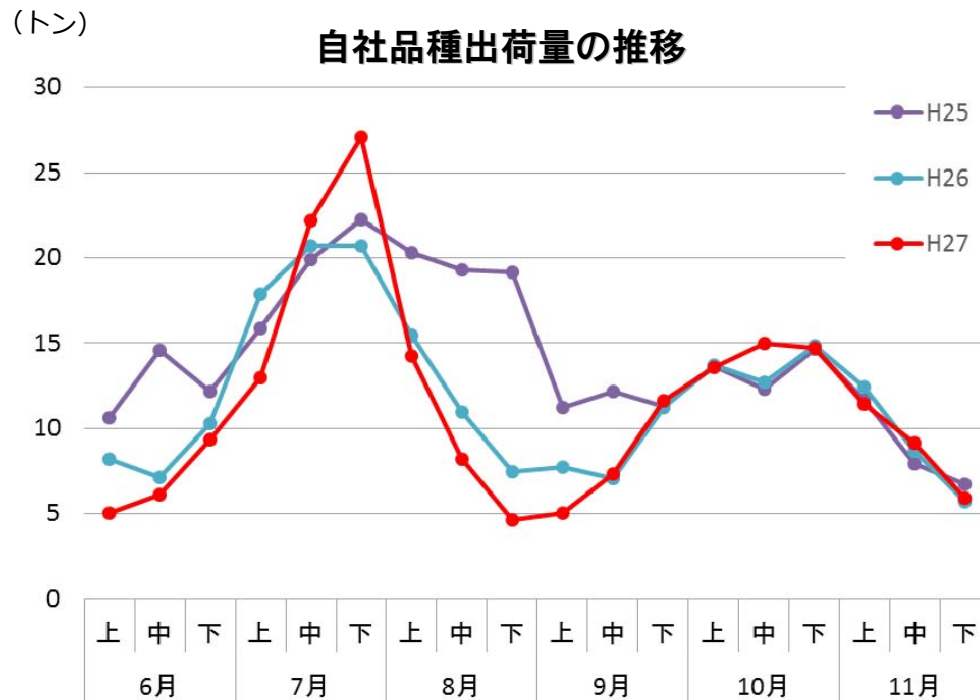


セグメント別の状況

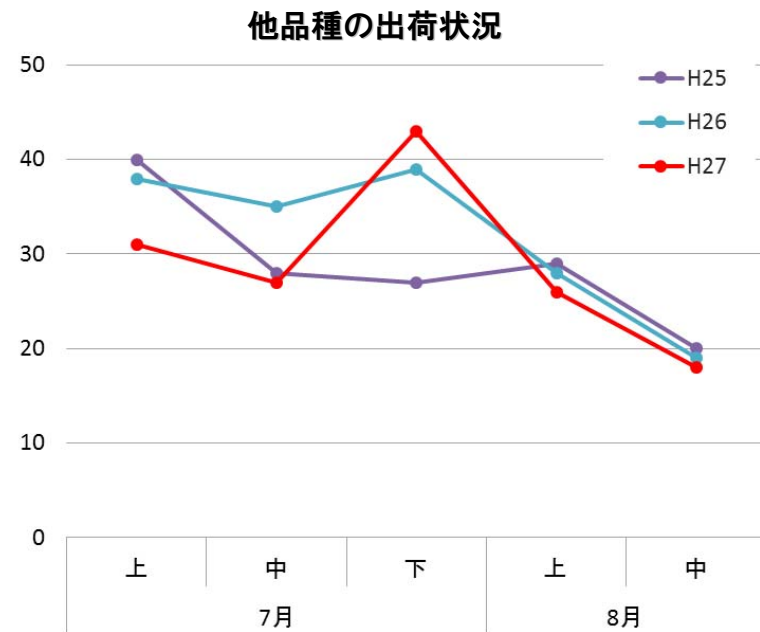


いちご果実・青果事業—自社品種の出荷状況—

- 7月中旬に急な高温条件となったため、出荷量が急増。7月下旬にかけて、想定以上の出荷が続く。他品種も同様の傾向。
- 7月の反動を受け、8月中旬以降は一転して極端な出荷の落ち込みとなる。



※当社出荷データより



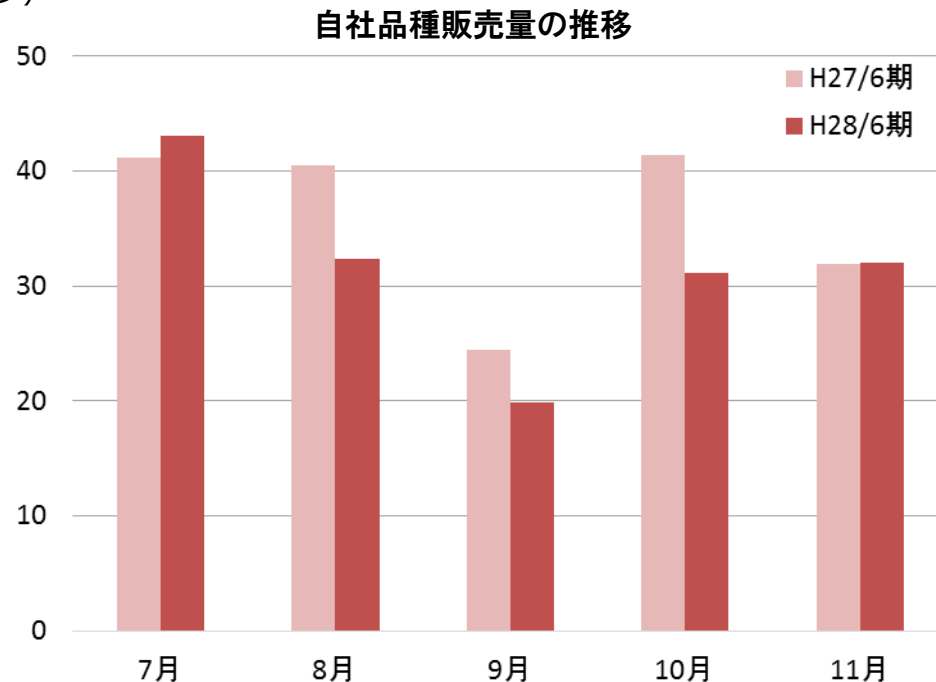
※農林水産省統計データより



いちご果実・青果事業—自社品種の販売状況—

- 輸入いちごに代わり、自社品種を積極的に販売し、7月の販売数量は前年比微増。
- 8月中旬以降の出荷量の落ち込みにより、8,9月の販売数量が減少。
- 10月是他品種の出荷量も回復し、自社品種の販売に苦戦。
結果として、7～11月の販売数量は前年比12%減少。

(トン)



自社品種販売実績(7～11月)

	H27/6期	H28/6期
販売量	179 トン	158 トン
売上高	533百万円	459百万円
総利益	173百万円	119百万円



いちご果実・青果事業—クリスマス期の状況①—

- 9月の定植後、栃木では大雨による被害が懸念されたが、その後の気象条件に恵まれ、生育は順調。
- 全国的に11, 12月は過去に例のないほどの温暖な環境で推移。

2015年11, 12月平均気温平年差

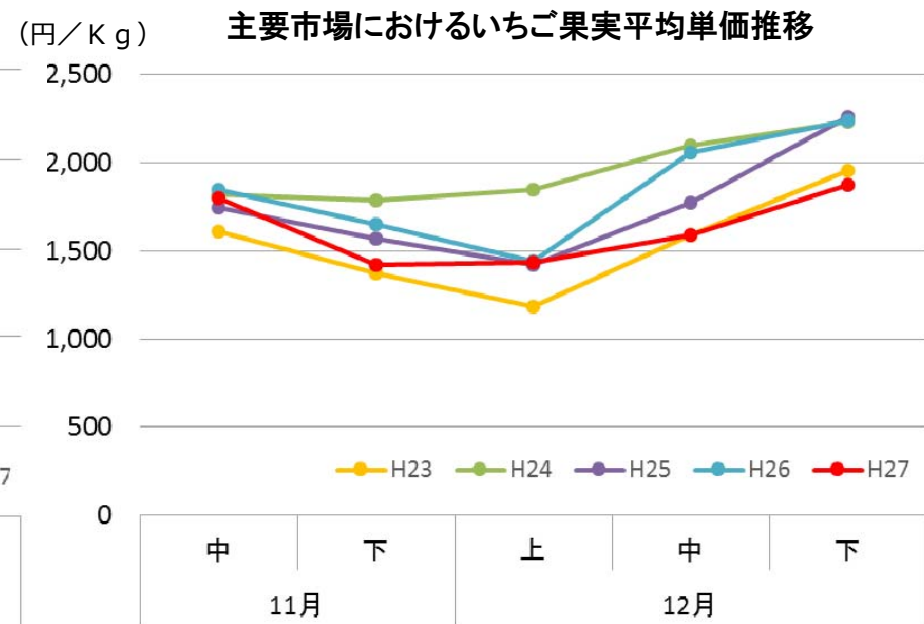
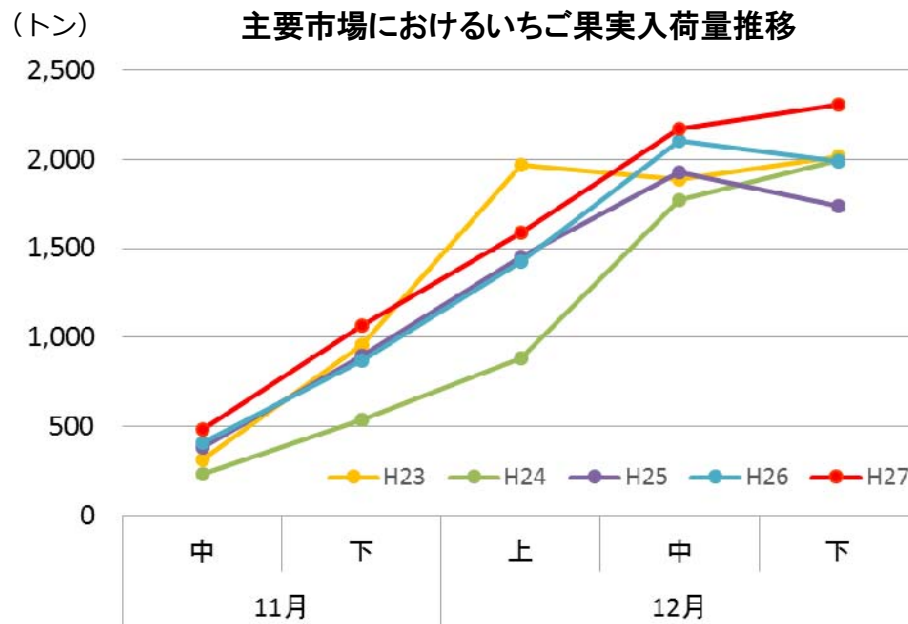


※気象庁統計データより



いちご果実・青果事業—クリスマス期の状況②—

- 11,12月の気象条件に恵まれ、クリスマスにかけて市場へのいちご入荷量は非常に潤沢。
- 全国的に入荷量が潤沢で、いちご果実平均単価は例年になく安値となる。



※農林水産省統計データより

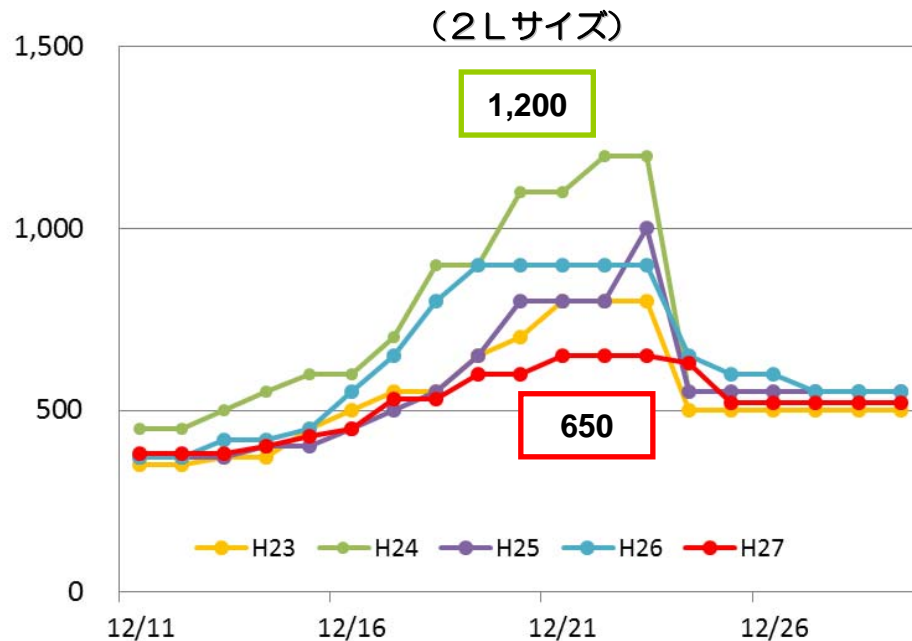


いちご果実・青果事業—クリスマス期の状況③—

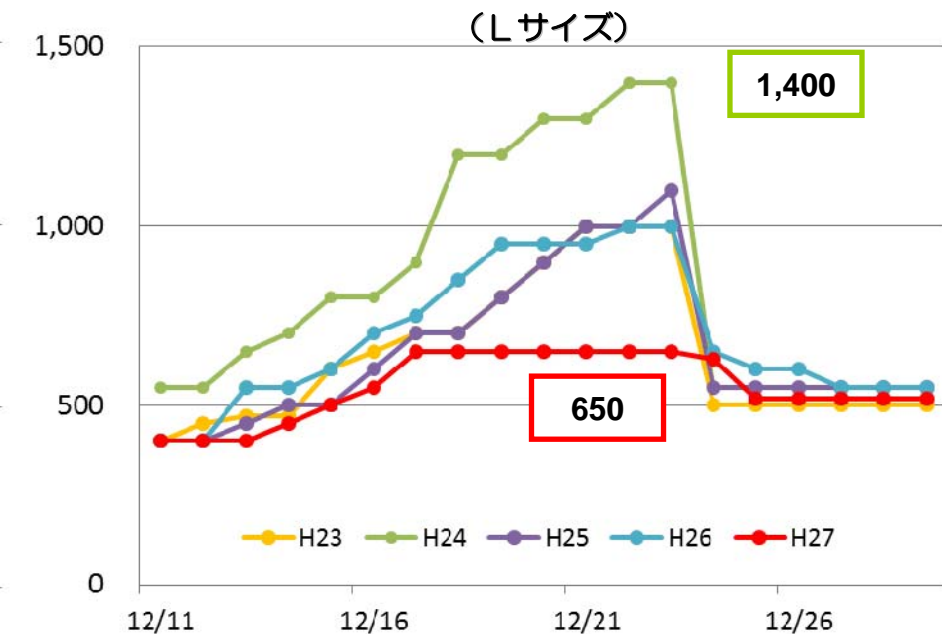
- 大田市場での相場価格も過去に例のないほどの安値傾向となる。
- 相場価格低迷により顧客への販売単価も低下。12月の売上高は前年比19%減少。
- 仕入価格が抑制されたため、固定価格での販売先に対しては利益を確保。

大田市場におけるいちご市場相場価格推移(過去5年比較)

(円/パック)



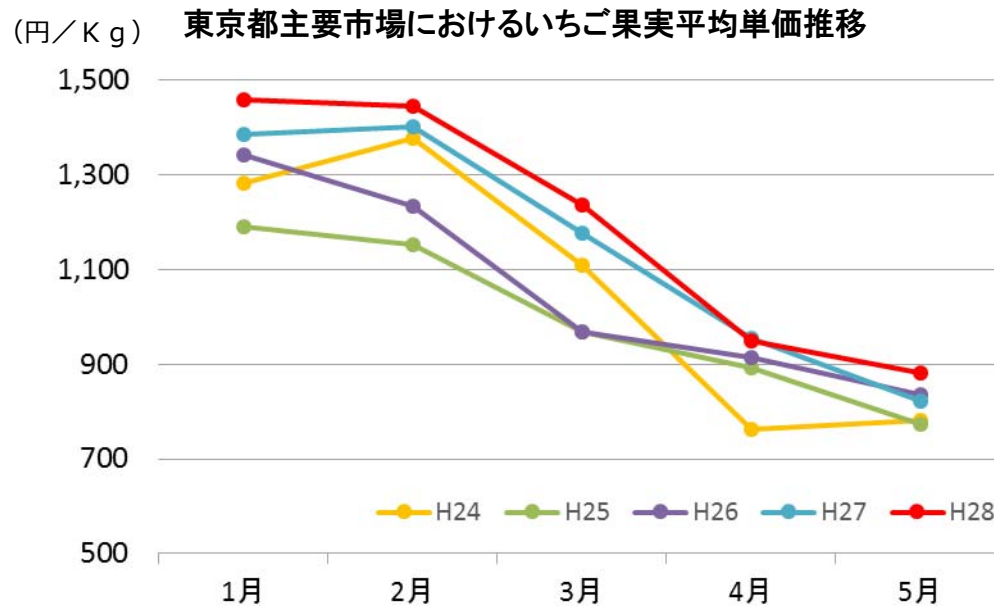
(円/パック)



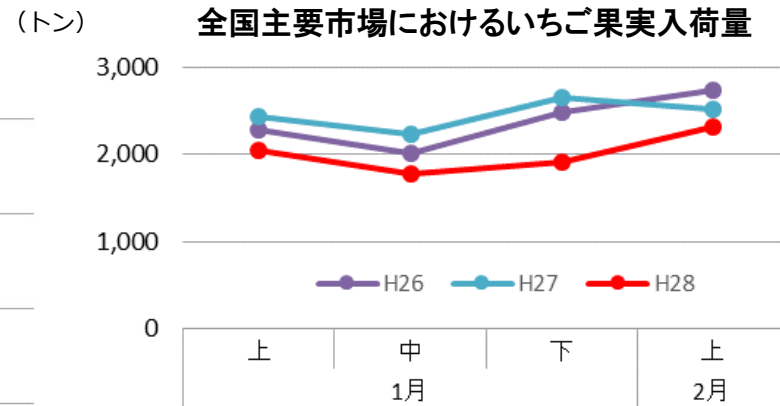


いちご果実・青果事業—下半期の状況—

- 年内に出荷が前倒しとなったことで、年明け以降の市場への入荷量が激減。1月中旬から2月にかけての入荷量の落ち込みの影響を受け、3月以降も販売数量を回復させることができず、売上高が減少。
- 市場相場価格は、高値で推移した前年(H27年)を上回る価格で推移。仕入価格上昇により利益が大幅に減少。



※東京都統計データより



※農水省統計データより

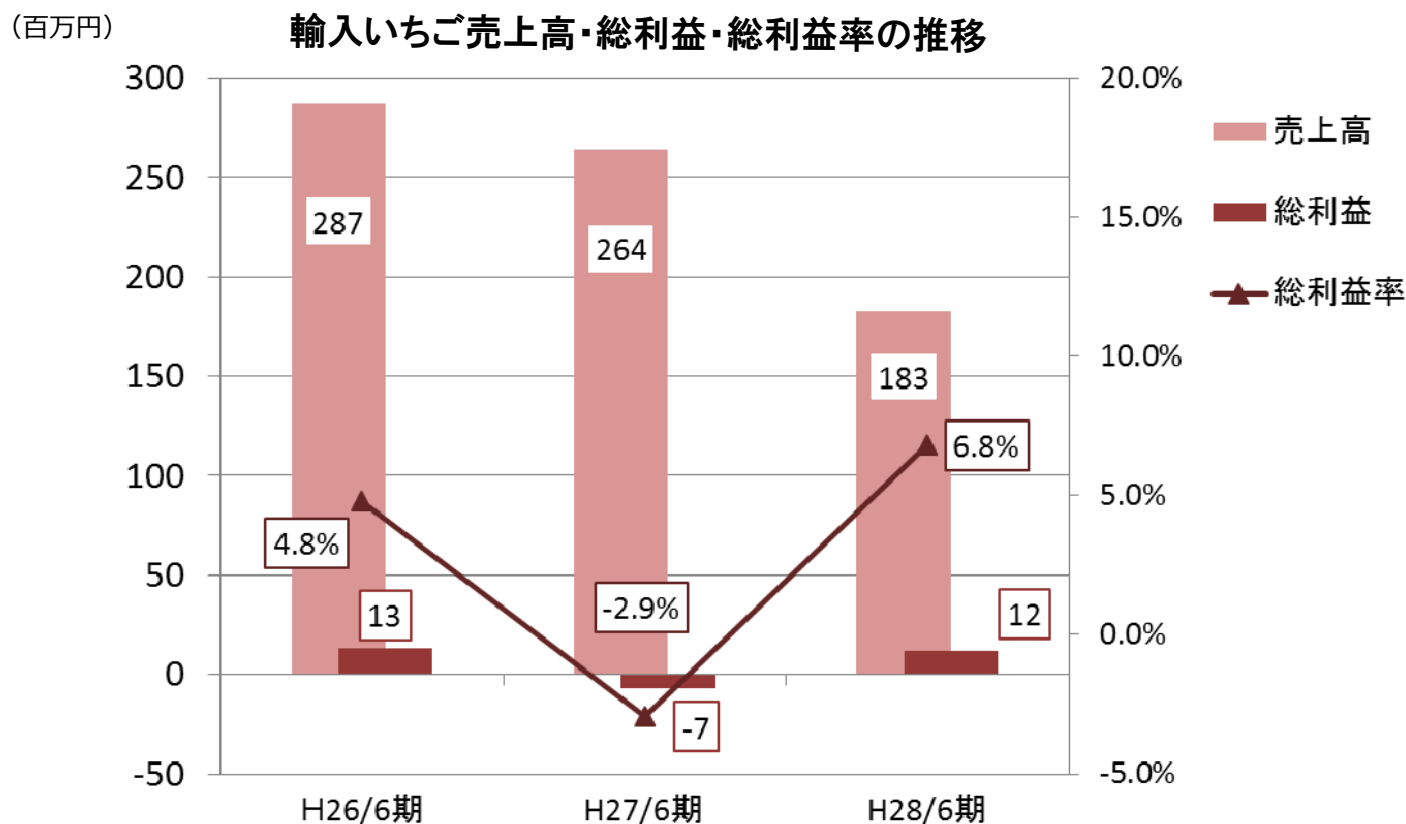
下半期いちご果実販売実績(1~6月)

	H27/6期	H28/6期
販売量	840 トン	761 トン
売上高	1,206百万円	1,089百万円
総利益	224百万円	129百万円



いちご果実・青果事業—輸入いちご販売状況—

- 自社品種を優先して販売したため、取扱量が減少。
- 円安による仕入価格上昇分を販売価格に転嫁できたことで総利益、利益率は改善。



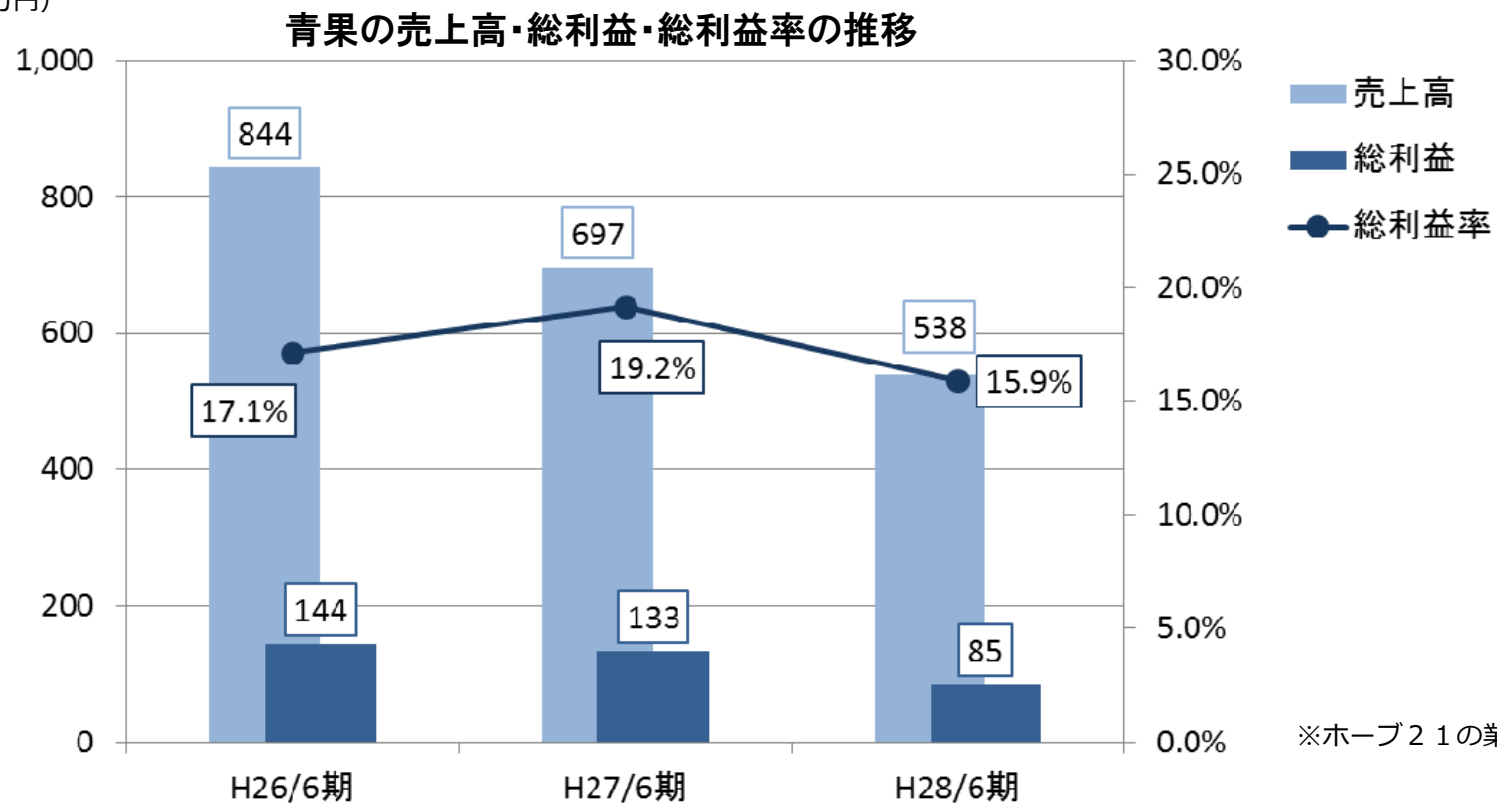
※ホープ21の業績含む



いちご果実・青果事業—その他青果の販売状況—

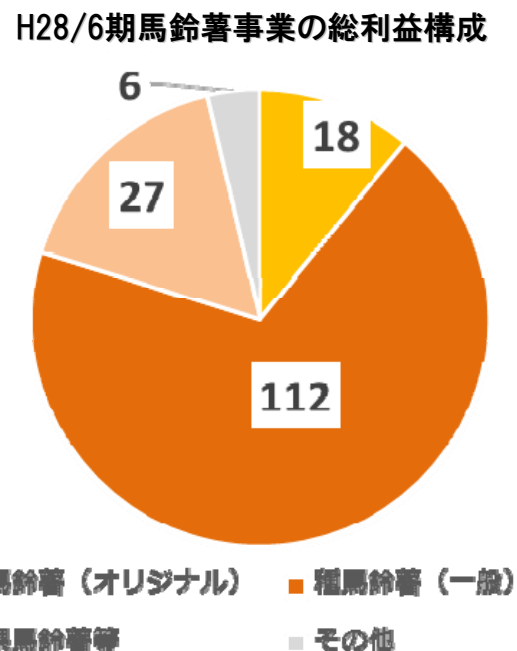
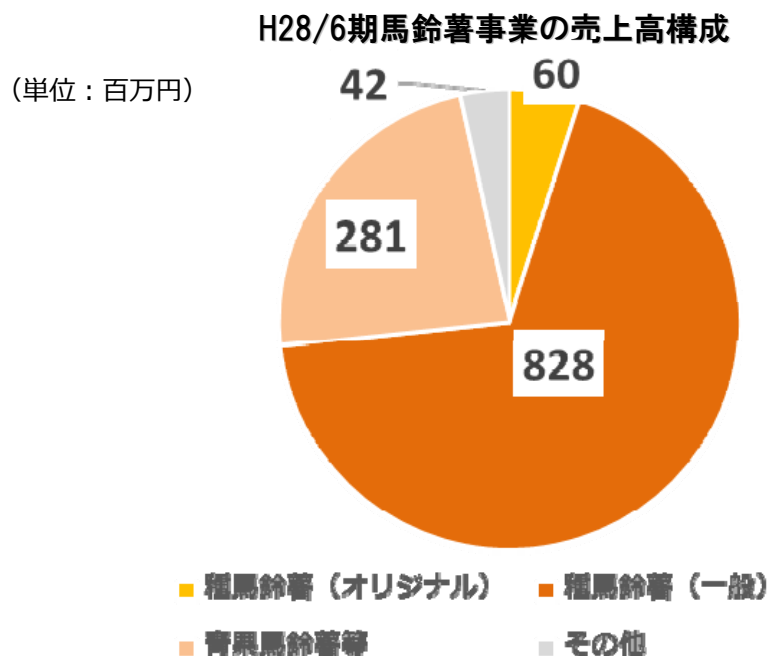
- 大手取引先の取扱量減少などにより売上高、総利益が減少。
- 円安による仕入原価の上昇もあり、利益率も低下。

(百万円)



馬鈴薯事業

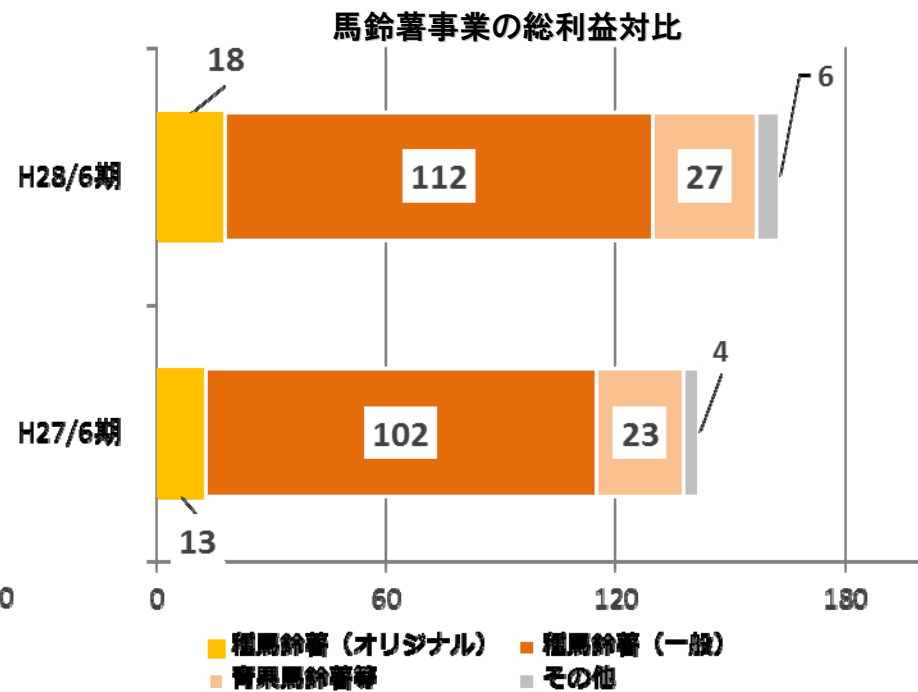
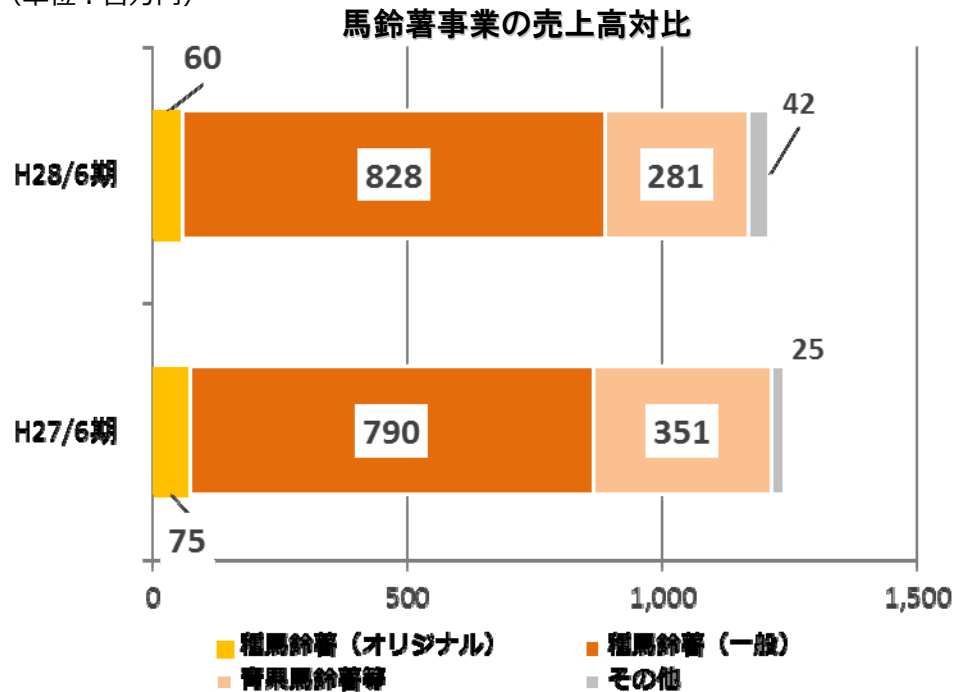
- 売上高の約70%、利益の約80%を種馬鈴薯が占める。
- 種馬鈴薯の販売は春作種馬鈴薯が主体となり、11,12月に販売のピークを迎える。
- 国内販売権を持つ海外オリジナル品種を所有。
一般品種に比べ、取扱量は少ないが利益率が高い。



馬鈴薯事業

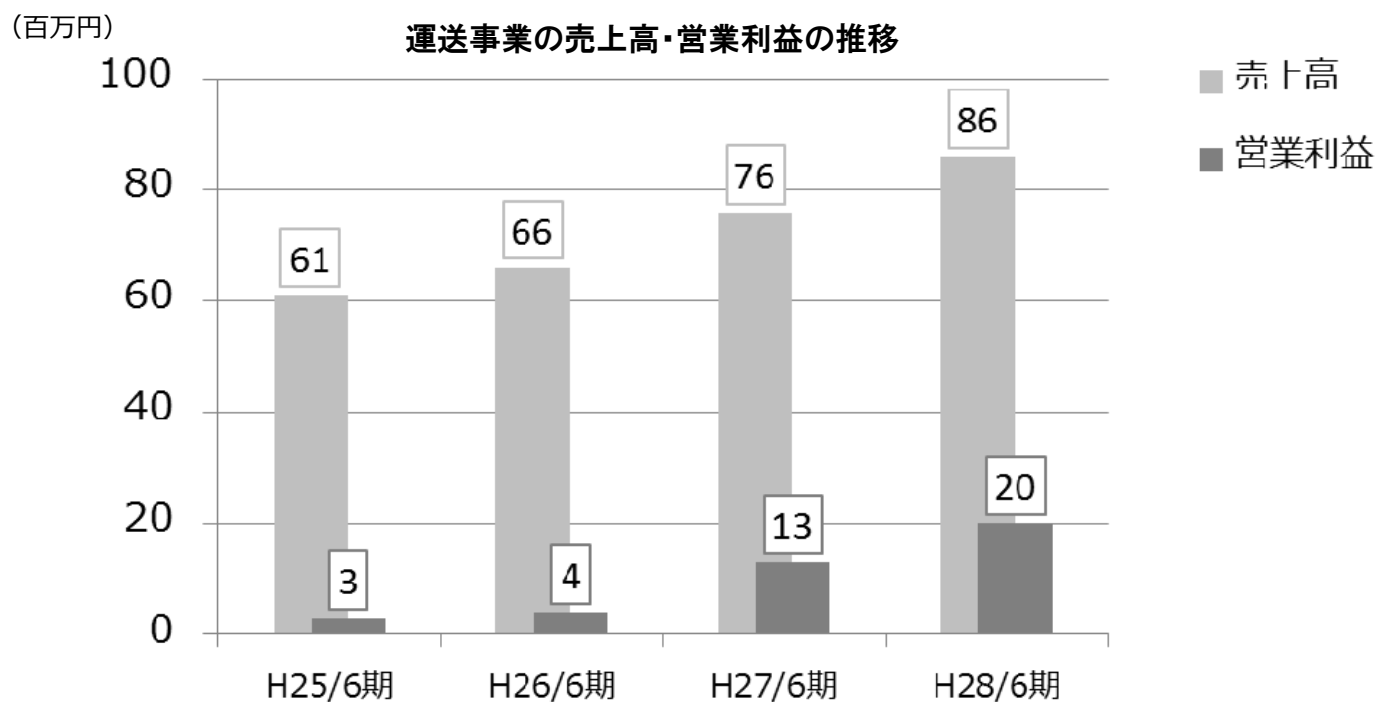
- 種馬鈴薯は一般品種の販売量増加により売上高が増加。
仕入数量・品質の適正管理に努め、利益を確保。
- 青果馬鈴薯等は、品薄の影響で売上高は減少したが、出荷経費等の抑制に努め利益は増加。

(単位：百万円)



運送事業

- 一般荷主からの配送業務を積極的に受託し、売上高は前年比14.1%増加。
- 自社配送原価の抑制、配送業務効率化に努め、営業利益も前年比52.7%増加。



※株式会社エス・ロジスティックスは平成25年12月19日付で、国土交通省指定の全国貨物自動車運送適正化事業実施機関より「安全性優良事業所(Gマーク)」の認定を受けております。



今後の対応

● いちご果実・青果事業の収益向上

<夏秋期>

- ・ 既存取引先への販売強化に加え、新規取引先獲得のための営業推進。
- ・ 新品種「夏瑞／なつみずき」の生食用としての販売展開、新たな販路の開拓。
- ・ 自社品種、他品種、輸入いちごを併用した安定供給体制の構築、収益の確保。

<冬春期>

- ・ 適正な数量の仕入、品質向上に向けた仕入体制の強化。
- ・ 販売数量の拡大に向け、新規取引先の開拓。

<その他の青果>

- ・ 取扱品目及び取扱量の拡大に向け、既存取引先に対する提案型営業の推進。

● 夏秋いちごの安定供給に向けた展開

- ・ 促成期との端境期に、集中して収量を上げることができる多収性品種の導入。

● 馬鈴薯事業の拡大

- ・ 利益率の高い海外オリジナル品種の販売強化。
- ・ 種馬鈴薯の仕入について、適正な品質と数量を確保する体制の確立。
- ・ 青果馬鈴薯の新規顧客の開拓を継続。

新品種「夏瑞／なつみずき」

栽培特性

- 規格外となる花が少なく、摘花作業などの労力削減につながる。
- 大果で収量性が高い。
- 高温期でも美しい果形を保ち、秀品率が非常に高い。



果実の特性

- 甘みが強く、みずみずしい食感で食味が非常に良い。
- 香りが非常に良い。
- きれいな円錐形で光沢が強く、美しい外観。



新品種の販売戦略

最大の特長であるの食味の良さを活かした販売展開で、夏場の生食用市場の開拓を図る。



本年2016年に「夏瑞／なつみずき」の商標登録を取得し、生食用としても本格販売を開始。



北海道産
なつみずき
natsu mizuki

「夏瑞／なつみずき」ブランドの確立



平成28年6月期

連結業績通期の見通し

連結業績通期予想

(単位：百万円)

	H29/6期 通期予想	H28/6期 通期実績	前期比 増減額	前期比 増減率 (%)
売上高	5,040	4,485	554	12.4
営業利益	115	△68	184	—
経常利益	116	△60	176	—
当期純利益	99	△110	209	—

※当社は平成28年10月1日付で、当社の100%出資の連結子会社である株式会社ホープ21及び株式会社ジャパンポテトを吸収合併することといたしました。



本日はご多忙中のところ
誠にありがとうございました